

牧小だより



心ゆたかに たくましく 生きぬく子

■校長室にやってくる子供たちの目、子供たちの力

5月から、毎月一つずつ「名文」を暗唱し、自分で納得できたときに校長室で誦んじる活動を始めています。美しい日本語に触れること、生き方（メッセージ）に触れること、何より粘り強く挑戦する姿勢を身に付けてほしいと願ってはじめました。来室する子供たちの様子に驚くことが多いです。まっすぐにわたしを見ながら誦んじる自信あふれるたくましさ、一言一言を明瞭に発声する力強さに、子供たちの力の開花を感じました。

5月は「のび太の言葉」でした。

一番いけないのは、自分なんかだめだと思い込むことだよ。
一つだけ教えておこう。きみはこれからも何度もつまづく。
でもそのたびに立ち直る強さももってるんだよ。

6月は「ドラえものの言葉」でした。

人にできて、きみだけにできないことなんてこと あるもんか。
どんなにうまくいかない時でも、どこかに君の宝石がきっとあるはずだよ。
その宝石を磨いて、魂をピカピカに磨いてみせてよ。

子供たちは、おうちの人や担任に背中を押されてやってきます。チェックカードに貼るシールに誘われてやってきます。しかし、やってみると「やった」「やりきった」という手応えを感じます。面白さを感じて、初めの頃の抵抗感はなくなっていきます。まさに、「自分なんかだめだと思い込むではいけない」「きみだけにできないことなんてこと あるもんか」を実感していると思います。その証拠に、今は7月ですが、既に10月まで達成している子供が大勢います。当月内で達成できれば十分ですが、子供の「つぎは？」に応えたく、達成した子供には先の月の名文を渡すようにしています。

■コロナ禍でのやり方で

6月17日にプール開きを行い、2年ぶりの水泳学習が始まりました。子供たちも感染予防の必要を理解して例年のような歓声は出ませんが、楽しげな様子です。可能な限り安全に水泳学習を進めるために、水泳学習実施にかかわる人員を増やして配置し、以下のように取り組んでいます。窮屈と感じられるかもしれませんが、子供たちの安全確保を最優先にしています。

- ・更衣は、男子は体育館、女子はまきっ子ランドでレジャーシートを敷いて間隔をとる
- ・プールサイドまでマスクを着用し、学習中は私語をしない
- ・指導教師はマスクを着用（もしくはフェイスシールド・マウスガード）し、電子ホイッスルを使用し、指導時も対面を避ける
- ・コロナ感染予防のため入水を希望されないご家庭の子供は、教師の見届けのもと図書館で自習をする

■安八町コミュニティ・スクール

本年度4月から、安八町内全小中学校で「コミュニティ・スクール制度」が始められています。この制度は、学校と保護者や地域の皆さんがともに知恵を出し合い、学校運営に意見を反映させることで、一緒に協働しながら子供たちの豊かな成長を支え「地域とともにある学校づくり」を進める仕組みです。牧小中学校はこれまでも地域の皆さんのおかげで、子供たちはたくさんの体験や交流活動をさせていただいており、新しい制度に整理しつつ、これまでと同じように牧の子供たちを育てることにお力を貸していただきたく、お願いいたします。お願いが遅くなり大変申し訳ありません。